

市民が池田市の魅力をレポートする
“市民記者”として、地元・池田の
情報を発信します。

今月の市民記者
楠 三佐子さん



市民記者として広報誌
に携わって18年。市内の
イベントや風景をカメラ
に収め、池田の魅力を発
信し続ける。

取材先

室 町 幼 稚 園

地域と共に歩んだ100年

創立当初、園舎のない「家
なき幼稚園」としてスタート
した学校法人室町幼稚園が今
年、100周年を迎えます。
今回は、いち早く幼児教育に
取り組んだ同園の歩みをご紹
介します。



◎青空の下での保育

同園設立のきっかけは、地
域住民の発案から。当時室町
にお住まいだった大阪毎日新
聞事業部長の橋詰良一さんが
外遊された際、外国の幼稚園
で取り組まれていた「ハウス
レスキンダーガーデン」にヒ
ントを得て、地域住民へ幼稚
園設置を働きかけたことから
始まりました。

「子どもは子ども同士の世

界に住ませ、家という建物
の枠から開放して、自然の中
で育てるのが何よりの幸福で
ある」という考えのもと、大
正11年春、橋詰さんは同園の
趣意書を、室町区域内の20
0戸に配布しました。そして
大阪毎日新聞社の後援を受
け、呉服神社の社前に「家な
き幼稚園」が開園されました。
当初のスタッフは橋詰園長以
下女性の先生3人とお手伝い
の女性の5人でしたが、入園
申し込みは60人ほどもあり、
予想を大きく上回りました。

遊戯や唱歌は乳母車に乗せ
たベビーカーを社前の広
場に運んできて教え、近くに
あった満寿美草原や猪名川の
川原へ出掛けたり、庭の広い
家の招待を受けて遊ばせても
らったり、ときには、おみや
げまでもらって帰ることさえ
あったとか。ちなみに、雨天
や酷暑の日には、園児を絵馬
堂に集めて保育していたそう
です。

◎受け継がれる地域との絆

その後、池田自然幼稚園、
室町幼稚園、社団法人室町幼
稚園、学校法人室町学園室町
幼稚園と4回の変遷を経て現
在に至っていますが、地域が
園を運営していた時期もあ
り、現在でも住民とは深い絆
で結ばれています。

これまでの卒園生は380
0人あまり。中には親子でお
世話になった方もおられるそ
うで、歴史と伝統がひしひし
と感じられます。

親子3代が卒園生だという
小野剛さん(80歳)は「私の在園
当時は幼稚園が家の前にあり、
やんちゃした私をしかる園長先



生の声が母にまで聞こえ、家
事が手につかなかったらしい
です。ただ、園長先生ご夫妻と
は家族ぐるみのお付き合い
だったので、お風呂をもらい
に我が家へ来られると、なんだ
かうれしくて楽しかったのを
覚えています。本当にアット
ホームな幼稚園でしたと当時
の思い出を話され、今も家族
ぐるみで関わっておられます。

◎さらなる100年に向けて

同園の大西康夫理事長によ
れば、今も変わらないアット
ホームな雰囲気を保ちながら、
この100周年を契機に教育
内容のさらなる充実と施設整
備に取り組まれるとか。卒園
生の皆さんとの
つながりを大切
にし、ぜひ、この
機会にお力をお
貸しいただきた
いとのこと。
皆さんどうぞ
ご協力ください。

お問い合わせ

室町幼稚園

連絡先 同園 ☎751・4029